



笑顔集う20歳の門出

県内16市町村で祝賀行事



華やかな晴れ着姿で記念撮影をする参加者＝12日、大分市東大道の大分いこいの道広場、撮影・山戸孝哉

大分や別府など県内の16市町村で12日、20歳を祝う行事があった。各会場に振り袖やはかま、スーツで着飾った若者たちが集まり、人生の節目を笑顔で迎え

た。
（6、7、19面に関連記事）
大分市はJCOMホールト
ホール大分（同市金池南）
で「20歳のつどい」を開催。
約3800人が参加した。

足立信也市長が「希望に満ちた、一人一人の美しい花を咲かせてほしい」と祝いの言葉を述べた。
当事者の19、20歳でつくる実行委員会が企画した

「20歳の夢トーク」では、同市出身のロックバンド「SIX LOUNGE（シックスラウンジ）」のギタリスト・ボーカルとして活躍する山口優盛さん（28）と実行委のメンバーが夢や目標を語り合った。

実行委員長の後藤菜々子さん（20）は「いろいろな企画を考え準備してこの日に



臨み、良
さい会に
きたと思
う。感動
で胸がい

っばい」と話した。
会場近くの「大分いこの道広場」には、市内の各中学校の名前を掲げた看板を設置。再会を喜び、記念撮影を楽しむ若者でにぎわった。

県によると、16市町村の対象者は1万59人（昨年11月現在）。今月13日の「成人の日」を前に開いた。2022年に成人年齢が18歳に引き下げられたため、「二十歳の集い」や「二十歳を祝う会」などの名称にした。
この日式典がなかった2市町は、九重町が昨年8月、豊後高田市が今月2日に実施した。

（菅嶋悠、穂好有加）



〔問①〕 大分県内16市町村の「集い」対象者は何人ですか（昨年11月現在）。

〔問②〕 1月13日は「成人の日」。集会の名称が「二十歳の集い」「二十歳を祝う会」などとなっているのはなぜですか。

〔問③〕 成人を迎えた自分に対する期待、関わってきた人々に対する思いを書いてみよう（成人を迎えた時点に立ったつもりで）。